

幼児を持つ母親の就業状況別家族機能と ソーシャルサポート

藤生 君江¹⁾ 中野 照代¹⁾ 荒木田美香子²⁾ 片桐 雅子¹⁾
佐藤 友子 山名れい子³⁾ 野崎やよい⁴⁾ 飯田澄美子¹⁾

聖隷クリストファー大学¹⁾ 浜松医科大学²⁾ 細江町³⁾ 豊岡村⁴⁾

Family Functions and Social Support For Mothers With Infants in relation to Their Types of Work

Kimie FUJII¹⁾ Teruyo NAKANO¹⁾ Mikako ARAKIDA²⁾ Masako KATAGIRI¹⁾
Tomoko SATOU Reiko YAMANA³⁾ Yayoi NOZAKI⁴⁾ Sumiko IIDA¹⁾

¹⁾ Seirei Christopher College ²⁾ Hamamatsu University School of Medicine

³⁾ Hosoe Town ⁴⁾ Toyooka Village

抄 録

幼児を持つ母親の就業状況による家族機能とソーシャルサポートの特徴を明らかにし、育児支援のありかたについて示唆を得ることを目的に、質問紙調査を実施した。その結果、正職員は、家庭内でのサポートが得られ、情緒機能は恵まれているが夫と話す時間が少ない。自営業は、夫以外の家族のサポートが得られている。間食は不規則であるが、生活リズムのしつけはなされている。パートは、正職員、自営業などの勤労婦人と比較し、夫・家庭内のサポートが得られていない。主婦は、情緒、教育、健康保持機能が高い。家庭内に夫以外で子育てのことで相談できる人は少ない。無職は、健康保持機能が高く、夫と話す時間がある等の特徴が見られた。

キーワード：幼児、母親就業状況、家族機能、ソーシャルサポート

I. はじめに

家族が小規模化しその役割も変わることでより家族機能が低下しているといわれるなかで、子育てをする母親の負担は大きく子育て支援が大きな課題となっている。

教育水準が高まるとともに女性が雇用者として働く機会が著しく増大した。そのまま結婚後もライフステージの展開に関係なくフルタイムで働き続けるものと、家族のライフステージに応じて就業・不就業を選択またはパートタイムを選択するものもある。一方家族従事者として夫とともに自営業として働く女性、家庭専従・子育ての女性もいる。このように子育てをしている女性の就業状況は様々である。

子育て支援を考えると、母親の就業状況における家族機能の特徴を明らかにすることは、良好な家族機能を維持・改善できるようきめ細かな対策への示唆が得られるのではないだろうか。このことについて、和田は、「家族アプガー」(家族の構成員が5つの質問に3段階で回答する。各々に0~2点が与えられ10点満点で採点する。6点以下を家族機能障害と判断する)を用いて3歳児健診受診児の家族機能と育児問題について検討しているが、母の職業の有無との有意差は認められなかったと述べている¹⁾。また子どもの行動・生活習慣上の問題との関連では、家族機能障害の父母は行動問題の数が有意に多かったと述べている²⁾。法橋³⁾は、「FFFS日本語版I」(家族エコロジカルモデルを背景として、親子や夫婦関係を測定する「家族と個々の家族メンバーとの関係」、知人や身内のように家族との相互関係が強い人々との関係や活動を測定する「家族とサブシステムとの関係」、学校や仕事などの居宅外での家族メンバーの活動を測定する「家族と社会との関係」

という3分野に分け、これらの関係から家族機能を測定する)を開発したが、その過程で自由回答方式の質問に対する回答内容で、「現在の生活において最も困っていること」では「仕事による時間の制約や家事との両立」に関する記載が最も多かったと述べている³⁾。中塚ら⁴⁾は、幼児を保育所に預けて働く母親を対象に、家庭生活の実態と子どもへの対応の仕方について個別面接調査を行っている。子育てをしながら長時間働く母親は家庭内での役割分担率も高く母と子のふれあいは後回しにされていたと述べている。堀らは⁵⁾職業を持ち保育園通園中の母親に質問し調査を行っている。80%は規則的な生活習慣に関わる養育を行っていた。実施率は、自営業と常勤の母親で高く、パートタイムの母親は低かったと述べて育児支援には母親の就業状態も考慮する必要性を述べている。

しかしながら母親の様々な就業状況と家族機能、また就業状況と家族機能によってどのような育児支援が必要かについて言及した研究は筆者の見限りでは見当たらない。

そこで本研究は、母親の就業状況による家族機能とソーシャルサポートの特徴を明らかにし、育児支援のあり方について示唆を得ることを目的とした。

II. 研究方法

1. 期間：平成13年1月
2. 対象：人口が約2万人、農業、一部はA市のベッドタウンとなっているH町の幼稚園・保育園児の親である。545件(回収率87.8%)の回答を得、そのうち母親が回答した510件のうち、無回答を除き495件である。

方法：留め置き調査。調査質問紙は、中野ら8名の研究者および保健師が、乳幼児健康診査に

において育児不安を早期に発見し、相談に乗れるような体制を作っていくという目標を掲げ、幼児健康診査における育児機能評価のためのアセスメントツールを開発している^{6) 7)}。その予備調査として、上記対象に調査を実施した。調査は、育児機能低下に関連する家族／家庭の要因、保育者の状態、子どもの状態、の3領域から質問項目の検討をおこなった。その結果、①家族構成、②父母の職業、③父母の健康状態、④家庭内の病人・要介護者の有無、「家族の機能」として、フリードマンがあげている家族機能⁸⁾を参考にして⑤情緒機能、⑥教育機能、⑦健康保持機能の3機能、さらに⑧ソーシャルサポート、⑨子どもの健康状態、⑩親の生育環境、⑪育児負担感(10項目)、⑫育児満足感の112項目が挙げられた。また基準関連妥当性の検討のため⑫親の精神健康度(GHQ12)を加え合計124項目とした。

本研究は、その調査を基に母親の就業状況による家族機能とソーシャルサポートの特徴に焦点をあて、⑤情緒機能(16項目、以下情緒という)、⑥教育機能(14項目、以下教育という)、⑦健康保持機能(21項目、以下健康という)、⑧ソーシャルサポート(11項目、以下サポートという)合計62項目について分析した。回答は、まったく違う、やや違う、ほぼその通り、その通りの4段階評定である。そのCronbach's α 信頼係数は、情緒0.88、教育0.81、健康0.77、サポート0.76であった。

なお負の表現で回答を求めた項目については、修正し集計した。

結果は、段階値を得点化し、その平均値と標準偏差ならびに因子分析によりすすめた。統計ソフトは、SPSS10を用いた。

Ⅲ. 結果

1. 母親の就業状況および核家族、拡大家族状況

母親の就業状況の内訳(表1)は、正職員45名(9%)、自営業28名(5.66%)、パート96名(19.39%)、主婦291名(58.79%)、無職35名(7.07%)である。無職と答えた母親は主婦でもない純粹の無職と、主婦の役割をとっていても、意識としては無職と捉えている母親が含まれると考えられる。

就業状況別の核家族、拡大家族の割合は表2に示すとおりである。正職員は核家族と拡大家族の割合が約6:4、自営業は3:7、パートは6:4、主婦は7:3、無職は8:2である。

表1 母親の就業状況

	全 体	
	人 数	%
正 職 員	45	9.00
自 営 業	28	5.66
パ ー ト	96	19.39
主 婦	291	58.79
無 職	35	7.07
計	495	100.00

表2 核家族・拡大家族別状況

	全 体		核 家 族		拡 大 家 族	
	人数	%	人数	%	人数	%
正職員	45	100.00	25	55.56	20	44.44
自営業	28	100.00	9	32.14	19	67.86
パート	96	100.00	59	61.46	37	38.54
主婦	291	100.00	196	67.35	95	32.65
無職	35	100.00	28	80.00	7	20.00
計	495	100.00	317	64.04	178	35.96

2. 家族機能、ソーシャルサポートについての、全体、各就業状況別段階値の合計平均と標準偏差による比較

(1) 一元配置分散分析：各就業状況別による情緒、教育、健康の家族機能およびサポートは、

有意差はみられなかった。

(2) 多重比較 (表3) : 家族機能の情緒において主婦はパートより、健康において主婦は自営業より有意に高値を示した。サポートは、有意差はみられなかった。

(3) 順位は、全体、各就業状況において1位が教育、2位が健康、3位が情緒であった。

3. 家族機能における平均値、標準偏差の比較

家族機能 (情緒、教育、健康) を構成してい

る質問項目について以下に述べる。

1) 情緒

(1) 一元配置分散分析

「6. 友人との約束より、家族の約束を尊重する」において有意差 (p<0.05) が認められた。

(2) 多重比較 (表4)

最上位の項目は全ての就業状況において「1. 外であった楽しい出来事を家族に話してみたい」であった。次いで正職員、自営業、パート、主婦は「2. 夫 (妻) や、子どもは心のより

表3 就業状況別家族機能、ソーシャルサポート

	全体			正職員			自営業			パート			主婦			無職			t 検 定
	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	
家族機能	3	3.15	0.42	3	3.13	0.41	3	3.06	0.32	3	3.07	0.41	3	3.19	0.42	3	3.13	0.44	主婦>パート*
情緒機能	1	3.28	0.32	1	3.32	0.33	1	3.19	0.33	1	3.24	0.31	1	3.30	0.32	1	3.29	0.28	
教育的機能	2	3.23	0.33	2	3.23	0.37	2	3.09	0.33	2	3.18	0.37	2	3.25	0.31	1	3.29	0.28	
健康保持機能																			
ソーシャルサポート		2.70	0.50		2.75	0.57		2.73	0.59		2.64	0.45		2.71	0.49		2.73	0.48	

*p<0.05, **p<0.02, ***p<0.01

表4 情緒機能における比較

質問項目	全体			正職員			自営業			パート			主婦			無職			t 検 定
	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	
1. 外であった楽しい出来事を家族に話してみたい	1	3.65	0.55	1	3.69	0.51	1	3.57	0.63	1	3.56	0.62	1	3.68	0.53	1	3.54	0.60	
2. 夫(妻)や、子どもは心のよりどころである	2	3.49	0.61	2	3.61	0.53	2	3.46	0.64	2	3.41	0.68	2	3.51	0.59	4	3.36	0.74	
3. 家にいると落ち着く	3	3.43	0.69	4	3.49	0.65	4	3.29	0.60	3	3.31	0.74	3	3.48	0.68	2	3.51	0.56	主婦>パート*
4. 物事を決めるときには、家族に相談して決める	4	3.39	0.63	3	3.53	0.54	3	3.36	0.62	4	3.25	0.62	4	3.42	0.63	3	3.44	0.55	主婦>パート** 正職員>パート***
5. 困ったときには家族の誰かに相談できる	5	3.34	0.67	5	3.43	0.61	4	3.29	0.66	5	3.24	0.67	5	3.36	0.68	5	3.28	0.60	
6. 友人との約束より、家族との約束を尊重する	6	3.18	0.67	6	3.33	0.69	13	2.86	0.76	6	3.09	0.65	6	3.21	0.66	6	3.21	0.70	主婦>自営業***、正職員>自営業*** 正職員>パート*、無職>自営業*
7. 私は夫(または妻・家族)にいつも大事にされていると思う	7	3.09	0.77	11	2.96	0.91	7	3.04	0.65	7	3.05	0.73	7	3.13	0.77	7	3.08	0.66	
8. 家族は私が困ったときに良いアドバイスをくれる	8	3.07	0.71	7	3.14	0.71	8	2.96	0.69	8	3.02	0.57	8	3.09	0.75	8	3.03	0.67	
9. 私は子どもが何を求めているかを理解できる	9	3.06	0.53	8	3.10	0.51	8	2.96	0.51	9	3.00	0.55	10	3.08	0.53	10	2.95	0.46	
10. 私は子どもが心配したり、不安に思っていることが何かを理解できる	10	3.05	0.53	9	3.06	0.59	12	2.89	0.32	10	2.99	0.52	8	3.09	0.53	12	2.92	0.53	
11. 1日に1回は家族と楽しい団欒の機会がある	11	3.02	0.87	13	2.90	0.96	6	3.11	0.79	11	2.93	0.95	11	3.06	0.83	8	3.03	0.74	
12. 私は夫(妻)の悩みをいつも聞くことができる	12	2.99	0.77	10	2.98	0.82	16	2.74	0.59	12	2.89	0.76	12	3.05	0.77	12	2.92	0.77	主婦>自営業*
13. 家族は私の悩みを聞いてくれる	13	2.94	0.87	12	2.94	0.90	8	2.96	0.69	13	2.87	0.85	13	2.97	0.88	14	2.87	0.80	
14. 私は夫(または妻・家族)に悩みをいつも打ち明けることができる	14	2.88	0.91	14	2.85	0.88	15	2.81	0.68	15	2.84	0.93	14	2.90	0.93	16	2.79	0.89	
15. 私は夫(または妻・家族)が心配したり、不安に思っていることが何かを理解できる	15	2.86	0.60	15	2.81	0.77	11	2.92	0.39	14	2.86	0.56	16	2.86	0.60	10	2.95	0.51	
16. 私は夫(妻)が何を求めているかを理解できる	16	2.83	0.61	16	2.74	0.77	14	2.85	0.46	16	2.74	0.62	15	2.87	0.60	15	2.85	0.54	

*p<0.05, **p<0.02, ***p<0.01

どころである」であった。無職は「3. 家にいると落ち着く」であった。下位2項目のうち「16. 私は夫（妻）が何を求めているかを理解できる」は正職員、パート、主婦、無職が共通していた。自営業は他の就業状況と異なり、「12. 私は夫（妻）の悩みをいつも聞くことができる」、「14. 私は夫（妻）に悩みをいつも打ち明けられることができる」であった。無職において残る1項目は「14. 私は夫（妻）に悩みをいつも打ち明けられることができる」であった。

i. 正職員

「物事を決めるときには、家族に相談して決める」、「6. 友人との約束より、家族との約束を守る」はパートより高かった（ $p < 0.02$ 、 $p < 0.01$ ）。

ii. 自営業

「6. 友人との約束より、家族との約束を守る」は、主婦、正職員、無職より低かった（ $p < 0.01$ 、 $p < 0.01$ 、 $p < 0.05$ ）。「12. 私は夫（妻）の悩みをいつも聞くことができる」は主婦より低かった（ $p < 0.05$ ）。

iii. パート

「3. 家にいると落ち着く」は主婦より低かった（ $p < 0.05$ ）。「4. 物事を決めるときには、家族に相談して決める」は主婦、正職員より低かった（ $p < 0.02$ 、 $p < 0.01$ ）。「6. 友人との約束より、家族の約束を尊重する」は正職員より低かった（ $p < 0.05$ ）。

iv. 主婦

「3. 家にいると落ち着く」、「4. 物事を決めるときには、家族に相談して決める」はパートより高かった（ $p < 0.05$ 、 $p < 0.02$ ）。「6. 友人との約束より、家族の約束を尊重する」、「14. 私は夫（妻）に悩みをいつも打ち明けられることができる」は自営業より高かった（ $p < 0.01$ 、 $p < 0.05$ ）。

v. 無職

有意差を示す項目はない。

単純順位により順位相関を求めると表5のような結果を示す。この表からは全体・自営、全体・パート、正職員・自営、自営・パート、自営・主婦、自営・無職の組み合わせが平均以下を示し、自営とパートが特徴を示す。最低値は正職員・自営の組み合わせである。

表5 情緒機能における就業状況別順位相関

	全体	正職員	自営	パート	主婦	無職
全体		0.96	0.71	0.81	0.99	0.92
正職員			0.63	0.95	0.95	0.85
自営				0.80	0.76	0.82
パート					0.98	0.94
主婦						0.89

■ は平均以上を示す

2) 教育

(1) 一元配置分散分析

「2. 良いことをしたときには子どもを誉める」、「14. 1日1回は子どもと遊び時間を持っている」において有意差を認めた（ $p < 0.05$ 、 $p < 0.05$ ）。

(2) 多重比較（表6）

最上位項目は、自営業、パート、主婦、無職は「1. 悪いことをしたときには子どもをしかる」であった。正職員は「2. 良いことをしたときには子どもを誉める」であった。次いで自営業、主婦、無職は「2. 良いことをしたときには子どもを誉める」であった。パートは、「3. 弱い人や動物を大事にするように話している」であった。下位2項目のうち「14. 1日1回は子どもと遊ぶ時間を持っている」は全ての就業状況に共通していた。残る1項目は、正職員、主婦、無職は「13. 食事は家族そろってするようにしている」であった。自営業は「12. 子どもの話を聞く時間をとっている」であり、パートは「11. 自分なりの育児の方針に基づいて、育児をしている」であった。

表6 教育機能における比較

質問項目	全体			正職員			自営業			パート			主婦			無職			t 検 定
	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	
1. 悪いことをしたときには子どもをしかる	1	3.71	0.5	2	3.69	0.55	1	3.57	0.50	1	3.67	0.59	1	3.74	0.46	1	3.77	0.43	
2. 良いことをしたときには子どもを誉める	2	3.57	0.54	1	3.73	0.49	2	3.39	0.57	3	3.47	0.60	2	3.60	0.52	2	3.56	0.55	主婦>パート*、 正職員>自営業***
3. 弱い人や動物を大事にするように話している	3	3.49	0.57	3	3.60	0.57	6	3.29	0.53	2	3.55	0.54	3	3.47	0.57	3	3.54	0.51	正職員>自営業**、 パート>自営業*
4. やってはいけないことについて子どもと約束している	4	3.44	0.57	5	3.45	0.61	7	3.25	0.52	4	3.41	0.55	5	3.46	0.57	5	3.44	0.50	
5. 家族や家庭で行う催し物・行事を大切にしている	5	3.43	0.62	4	3.52	0.62	7	3.25	0.80	6	3.34	0.63	3	3.47	0.59	3	3.54	0.55	
6. 子どもを抱いたり、膝の上のせたりしてスキンシップをしている	6	3.37	0.68	7	3.35	0.67	4	3.36	0.68	8	3.26	0.65	6	3.41	0.68	6	3.38	0.63	
7. 子どもには近所の人への挨拶をさせている	7	3.36	0.61	8	3.31	0.68	4	3.36	0.68	5	3.37	0.63	7	3.36	0.59	7	3.33	0.66	
8. 機会あるごとに交通ルールを教えている	8	3.34	0.63	6	3.44	0.65	2	3.39	0.63	7	3.33	0.63	8	3.31	0.63	7	3.33	0.62	
9. 子どもが自分がやりたがることは、一人でやらせる	9	3.15	0.54	10	3.29	0.54	9	3.14	0.59	9	3.16	0.64	10	3.12	0.50	9	3.10	0.38	正職員>主婦*
10. 子どものしつけは家族が協力して行っている	10	3.13	0.58	8	3.31	0.51	10	3.07	0.54	10	3.05	0.58	9	3.13	0.59	11	3.08	0.53	正職員>パート**
11. 自分なりの育児の方針にもとづいて、育児をしている	11	3.08	0.51	11	3.1	0.55	12	3.00	0.47	13	2.96	0.49	10	3.12	0.50	9	3.10	0.50	主婦>パート***
12. 子どもの話を聞く時間をとっている	12	2.99	0.58	12	2.94	0.7	13	2.86	0.59	12	3.00	0.58	12	3.00	0.56	12	3.05	0.51	
13. 食事は家族そろってするようにしている	13	2.97	0.73	14	2.82	0.75	10	3.07	0.77	11	3.02	0.69	14	2.96	0.73	13	2.95	0.83	
14. 1日1回は子どもと遊ぶ時間を持っている	14	2.92	0.71	13	2.83	0.83	14	2.68	0.61	14	2.79	0.65	13	2.99	0.71	14	2.85	0.67	主婦>パート**

*p<0.05, **p<0.02, ***p<0.01

i. 正職員

「2. 良いことをしたときには子どもを誉める」、
「3. 弱い人や動物を大事にするように話している」
は自営業より高かった (p<0.01、p<0.02)。「9. 子どもが自分でやりたがることは、一人でやらせる」は主婦より高かった (p<0.05)。「10. 子どものしつけは家族が協力して行っている」はパートより高かった (p<0.02)。

ii. 自営業

「2. 良いことをしたときには子どもを誉める」、
「3. 弱い人や動物を大事にするように話している」
は、正職員より有意に低かった (p<0.01、p<0.02)。

iii. パート

「2. 良いことをしたときには子どもを誉める」、
「11. 自分なりの育児の方針に基づいて、
育児をしている」、「14. 1日1回は子どもと遊ぶ
時間を持っている」は主婦より低かった
(p<0.05、p<0.01、p<0.02)。「3. 弱い人や動物

を大事にするように話している」は自営業より
高かった (p<0.05)。「10. 子どものしつけは家
族が協力して行っている」は正職員より低かつ
た (p<0.02)。

iv. 主婦

「2. 良いことをしたときには子どもを誉め
る」、「11. 自分なりの育児の方針に基づいて、
育児をしている」、「14. 1日1回は子どもと遊ぶ
時間を持っている」はパートより高かった
(p<0.05、p<0.01、p<0.02)。「9. 子どもが自分
でやりたがることは、一人でやらせる」は正職
員より低かった (p<0.05)。

v. 無職

有意差を示す項目はない。

単純順位により順位相関を求めると表7のよう
な結果を示す。この表からは全体・自営、正職
員・自営、自営・パート、自営・主婦、自営・
無職の組み合わせが平均以下を示し、自営が特

表7 教育機能における就業状況別順位相関

	全体	正職員	自営	パート	主婦	無職
全体		0.96	0.83	0.96	0.98	0.98
正職員			0.81	0.91	0.98	0.95
自営				0.85	0.78	0.81
パート					0.91	0.92
主婦						0.98

■は平均以上を示す

徴を示す。最低値は自営・主婦の組み合わせである。

3) 健康

(1) 一元配置分散分析：「18. 子どもの歯磨き終了後、大人が再度確認している」、「朝食を必ず食べさせる」、「17. 子どもは外遊びさせている」、「車に乗るときはチャイルドシートを使用している」、「道路では必ず子どもと手をつなぐ」、「おやつを与える時間と回数を決めている」において有意差 ($p<0.05$ 、 $p<0.05$ 、 $p<0.05$ 、 $p<0.01$ 、 $p<0.05$ 、 $p<0.02$) が認められた。

(2) 多重比較 (表8)

上位2項目は、全ての就業状況において「1. 子どもの下着は毎日着替えさせる」、「2. 朝食を必ず食べさせる」であった。下位2項目のうち「21. 子どもの前ではタバコを吸わないようにしている」は全ての就業状況に共通していた。残る1項目のうち「20. 1日1度は本を読んで聞かせる」は無職を除いて共通していた。自営業の最下位は、「21. 子どもの前ではタバコを吸わないようにしている」で、無職の最下位は、「19. おやつを与える時間と回数を決めている」、「20. 1日1度は本を読んで聞かせる」であった。

i. 正職員

「6. 子どもは十分な睡眠をとらせるようにしている」は主婦より有意に低かった ($p<0.02$)。「7. 車に乗るときは、チャイルドシートを使用

している」は主婦より低く ($p<0.01$)、無職より高い ($p<0.01$)。「8. 道路では必ず子どもと手をつなぐ」、「10. いざという時のために相談できる主治医がいる」は主婦より高かった ($p<0.02$ 、 $p<0.05$)。「11. 子どもを友達と遊ばせている」は主婦、パートより低かった ($p<0.05$)。「19. おやつを与える時間と回数を決めている」は自営業より高かった ($p<0.05$)。

ii. 自営業

「1. 子どもの下着は毎日着替えさせる」、「4. 子どもは毎日入浴させる」、「7. 車に乗るときは、チャイルドシートを使用している」は無職より低かった ($p<0.02$ 、 $p<0.01$ 、 $p<0.02$)。「2. 朝食を必ず食べさせる」は主婦より有意に低かった ($p<0.02$)。「14. 外から帰ったら、手洗いやうがいさせている」は主婦、パートより低かった ($p<0.02$ 、 $p<0.05$)。「19. おやつを与える時間と回数を決めている」は主婦、正職員、パート、無職より低かった ($p<0.01$ 、 $p<0.05$ 、 $p<0.01$ 、 $p<0.05$)。

iii. パート

「11. 子どもを友達と遊ばせている」は正職員、無職より高かった ($p<0.05$)。「14. 外から帰ったら、手洗いやうがいさせている」、「19. おやつを与える時間と回数を決めている」は自営業より高かった ($p<0.01$)。「18. 子どもの歯磨き終了後、大人が再確認している」は主婦、無職より低かった ($p<0.01$ 、 $p<0.5$)。「20. 一日一度は本を読んで聞かせる」は主婦より低かった ($p<0.01$)。「21. 子どもの前ではタバコを吸わないようにしている」は無職より低かった ($p<0.5$)。

iv. 主婦

「2. 朝食を必ず食べさせる」、「14. 外から帰ったら手洗いやうがいさせている」、「19. おやつを与える時間と回数を決めている」は自営業

表8 健康保持機能における比較

質問項目	全体			正職員			自営業			パート			主婦			無職			t 検定
	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	
1. 子どもの下着は毎日着替えさせる	1	3.88	0.38	1	3.94	0.32	1	3.79	0.50	1	3.88	0.33	1	3.88	0.39	1	4.00	0.00	無職>自営**
2. 朝食を必ず食べさせる	2	3.81	0.50	2	3.73	0.64	2	3.61	0.63	2	3.81	0.47	2	3.84	0.47	2	3.95	0.32	主婦>自営業**、無職>自営***、無職>正職員*
3. 子どもに必要な、予防接種や健康診断を受けさせている	3	3.76	0.53	4	3.67	0.60	2	3.61	0.57	3	3.75	0.54	3	3.79	0.52	3	3.85	0.37	
4. 子どもは毎日入浴させる	4	3.67	0.55	3	3.69	0.51	4	3.54	0.58	4	3.65	0.52	4	3.68	0.57	3	3.85	0.37	無職>自営**
5. 子どもの健康状態をいつも観察している	5	3.57	0.52	5	3.63	0.53	5	3.46	0.58	5	3.58	0.52	5	3.57	0.52	5	3.54	0.51	
6. 子どもは十分な睡眠をとらせるようにしている	6	3.48	0.60	8	3.31	0.66	7	3.39	0.63	6	3.43	0.59	6	3.53	0.58	6	3.41	0.59	主婦>正職員**
7. 車に乗るときは、チャイルドシートを使用している	7	3.29	1.07	8	3.31	1.11	14	3.04	1.17	16	2.98	1.25	7	3.42	0.97	9	3.23	1.22	主婦>正職員***、無職>自営*、正職員>無職***
8. 道路では必ず子どもと手をつなぐ	8	3.28	0.69	7	3.50	0.58	6	3.43	0.63	8	3.27	0.70	10	3.24	0.71	17	3.05	0.69	正職員>主婦**
9. 子どもにとって危険なもの(ボタン、かみそり、ライター、薬品などは子どもの手の届かないところに置いておく)	9	3.27	0.82	11	3.13	0.82	10	3.11	0.75	9	3.25	0.85	8	3.32	0.83	7	3.38	0.71	
10. いざという時のために相談できる主治医がいる	9	3.27	0.90	6	3.52	0.68	8	3.29	0.90	7	3.29	0.88	12	3.22	0.93	10	3.18	0.76	正職員>主婦*
11. 子どもを友達と遊ばせている	11	3.22	0.67	14	3.02	0.70	9	3.18	0.67	11	3.21	0.65	9	3.26	0.67	11	3.15	0.78	主婦>正職員*、パート>正職員*、パート>無職*
12. 食事の時間はほぼ決まっている	12	3.21	0.55	12	3.08	0.65	10	3.11	0.63	10	3.24	0.56	10	3.24	0.52	8	3.28	0.51	
13. 子どもは早寝早起きをさせている	13	3.15	0.74	12	3.08	0.74	12	3.07	0.86	13	3.13	0.74	13	3.17	0.73	14	3.13	0.70	
14. 外から帰ったら、手洗いやうがいをさせている	14	3.12	0.87	15	3.00	0.92	17	2.75	0.84	12	3.14	0.89	14	3.16	0.86	13	3.15	0.71	主婦>自営業**、パート>自営業*
15. 起きる時間、寝る時間が決まっている。	15	3.07	0.60	15	3	0.71	12	3.07	0.72	14	3.10	0.59	15	3.07	0.58	19	2.97	0.63	
16. 家族の食事内容や、栄養のバランスに注意している	16	3.03	0.71	10	3.17	0.78	15	3.00	0.61	17	2.97	0.72	16	3.03	0.71	15	3.10	0.68	
17. 子どもは外遊びをさせている	17	3.01	0.70	18	2.94	0.57	16	2.96	0.74	15	3.02	0.78	17	3.02	0.67	18	3.03	0.67	
18. 子どもの歯磨き終了後、大人が再度確認している	18	2.89	0.98	17	2.98	1.08	18	2.64	0.95	19	2.68	0.97	18	2.97	0.97	15	3.10	0.91	主婦>パート***、無職>パート*
19. おやつを与える時間と回数を決めている	19	2.65	0.92	19	2.63	1.00	21	2.14	0.89	18	2.81	0.92	19	2.65	0.90	20	2.67	0.70	主婦>自営業***、正職員>自営業*、パート>自営業***、無職>自営業*
20. 1日1度は本を読んで聞かせる	20	2.49	0.91	21	2.58	0.73	19	2.50	0.84	21	2.25	1.01	20	2.55	0.85	20	2.67	0.74	主婦>パート***
21. 子どもの前ではタバコを吸わないようにしている	21	2.38	1.75	20	2.60	1.03	19	2.50	1.71	20	2.40	1.71	21	2.32	1.78	11	3.15	1.39	無職>主婦***、無職>パート*

*p<0.05, **p<0.02, ***p<0.01

より高かった (p<0.02、p<0.02、p<0.01)。「6. 十分な睡眠をとらせるようにしている」、「7. 車に乗るときは、チャイルドシートを使用している」、「11. 子どもを友達と遊ばせている」は正職員より高かった (p<0.02、p<0.01、p<0.05)。「10. いざという時のために相談できる主治医がいる」は正職員より低かった (p<0.05)。「18. 子どもの歯磨き終了後、大人が再度確認している」、「20. 1日1度は本を読んで聞かせる」はパートより高かった (p<0.01)。

v. 無職：

「2. 朝食を必ず食べさせる」、「4. 子どもは毎日入浴させる」、「19. おやつを与える時間と回数を決めている」自営業より高かった (p<0.02、p<0.02、p<0.05)。「7. 車に乗るときは、チャイルドシートを使用している」は自営業より高く (p<0.05)、正職員より低かった (p<0.01)。「11. 子どもを友達と遊ばせている」はパートより低かった (p<0.05)。「21. 子どもの前ではタバコを吸わないようにしている」は主婦、パートより高かった (p<0.01、

p<0.05)。

単純順位により順位相関を求めると表9のような結果を示す。この表からは、全体・無職、正職員・パート、正職員・無職、自営・無職、パート・無職、主婦・無職の組み合わせが平均以下を示し無職が特徴を示す。最低値は主婦・無職の組み合わせである。

表9 健康保持機能における就業状況別順位相関

	全体	正職員	自営	パート	主婦	無職
全体		0.95	0.94	0.93	0.99	0.90
正職員			0.91	0.89	0.92	0.87
自営				0.96	0.93	0.87
パート					0.92	0.86
主婦						0.78

は平均以上を示す

4. 家族機能における就業状況別因子分析 (表10)

質問項目の得点化により因子分析を進めた。

第1～3因子における2項目を示す。

1) 全体

第1因子：情緒：「14. 私は夫（妻）に悩みをいつも打ち明けることができる」、「13. 家族は私の悩みを聞いてくれる」

第2因子：健康：「13. 子どもは早寝早起きを

させている」、「15. 起きる時間、寝る時間が決まっている」

第3因子：教育：「1. 悪いことをしたときには子どもをしかる」、「2. 良いことをしたときには子どもを誉める」

第1. 2. 3因子ともに単一である。

2) 就業状況別

(1) 正職員

第1因子：情緒：「14. 私は夫（妻）に悩みをいつも打ち明けることができる」、「13. 家族は私の悩みを聞いてくれる」

第2因子：教育：「12. 子どもの話を聞く時間をとっている」、「9. 子どもが自分でやりたがることは、一人でやらせる」

第3因子：情緒：「15. 私は夫（妻）が心配したり、不安に思っていることが何かを理解できる」、「16. 私は子どもが何を求めているかを理解できる」

第1、2、3因子ともに単一である。

3) 自営業

第1因子：教育：「8. 機会あるごとに交通ルールを教えている」、「2. 良いことをしたときには子どもを誉める」

第2因子：情緒：「14. 私は夫（妻）に悩みを

表10 家族機能における就業状況別因子分析

因子	全体			因子	正職員			因子	自営業			因子	パート			因子	主婦		
	F1	F2	F3		F1	F2	F3		F1	F2	F3		F1	F2	F3		F1	F2	F3
情緒 14	0.83	-0.02	0.05	情緒 8	0.82	-0.14	-0.06	教育 8	0.86	-0.04	0.10	情緒 13	0.79	-0.07	0.14	情緒 14	0.84	-0.03	-0.11
情緒 13	0.81	-0.06	0.05	情緒 7	0.81	-0.07	-0.02	教育 2	0.82	0.30	0.05	情緒 5	0.77	0.18	-0.07	情緒 13	0.81	-0.02	-0.06
情緒 5	0.78	-0.01	0.08	情緒 3	0.79	0.22	0.10	教育 1	0.81	0.11	-0.02	情緒 14	0.77	0.07	0.15	情緒 8	0.79	0.07	0.05
情緒 8	0.76	0.05	0.06	情緒 5	0.77	-0.21	-0.10	健康 5	0.72	0.09	0.06	情緒 12	0.71	0.07	0.14	情緒 5	0.79	-0.05	0.00
情緒 7	0.72	-0.01	0.04	情緒 14	0.77	0.21	0.20	教育 3	0.70	0.18	0.18	健康 15	0.10	0.84	0.12	情緒 7	0.71	0.03	0.12
情緒 12	0.71	0.13	0.05	情緒 12	0.76	0.05	0.39	情緒 13	0.23	0.86	-0.09	健康 13	-0.07	0.83	-0.02	健康 13	0.07	0.82	0.08
健康 13	0.03	0.82	0.01	教育 12	0.07	0.75	0.46	情緒 12	0.21	0.75	0.06	健康 6	-0.02	0.74	0.04	健康 15	-0.05	0.82	-0.06
健康 15	0.03	0.81	0.03	教育 9	-0.24	0.69	0.02	情緒 8	0.01	0.72	0.04	健康 18	0.05	0.08	0.73	健康 6	0.15	0.70	0.21
健康 6	0.06	0.70	0.20	教育 14	0.07	0.67	0.10	教育 10	0.14	0.72	0.15	健康 20	0.09	-0.01	0.70	健康 12	-0.03	0.65	0.03
健康 12	0.03	0.66	0.02	教育 6	0.02	0.63	-0.06	情緒 5	0.28	0.69	-0.20	健康 14	0.15	0.21	0.59	健康 1	0.00	-0.03	0.81
教育 1	0.15	0.04	0.78	情緒 15	0.23	0.17	0.85	健康 15	0.07	-0.08	0.86	健康 19	0.13	0.16	0.52	健康 2	-0.01	0.23	0.76
教育 2	0.15	0.02	0.68	情緒 16	0.21	-0.04	0.79	健康 12	0.11	-0.01	0.84					健康 4	0.01	0.07	0.65
教育 4	0.13	0.07	0.56	情緒 9	-0.06	0.16	0.68	健康 13	0.04	-0.08	0.79					健康 16	-0.06	0.29	0.50
教育 3	0.01	0.10	0.55	情緒 10	-0.06	0.11	0.65	健康 11	0.37	0.24	0.65								
教育 4	0.05	0.08	0.52	情緒 10	-0.06	0.11	0.65	情緒 9	0.37	0.10	0.52								
累積寄与率(%)	18.06	26.63	31.12		19.96	32.91	40.3		18.41	31.77	40.68		19.17	28.11	34.25		18.56	26.75	31.59

いつも打ち明けることができる」、「13. 家族は私の悩みを聞いてくれる」

教育：「10. 子どものしつけは家族が協力して行っている」

第3因子：健康：「15. 起きる時間、寝る時間が決まっている」、「12. 食事の時間はほぼ決まっている」

情緒：「9. 私は子どもが何を求めているかを理解できる」

第1因子は単一である。2、3因子は複雑である。

4) パート

第1因子：情緒：「13. 家族は私の悩みを聞いてくれる」、「5. 困ったときに家族の誰かに相談できる」

第2因子：健康：「15. 起きる時間、寝る時間が決まっている」、「13. 子どもは早寝早起きをさせている」

第3因子：健康：「1. 子どもの下着は毎日着替えさせる」、「2. 朝食を必ず食べさせる」

第1、2、3因子ともに単一である。

5) 主婦

第1因子：情緒：「14. 私は夫（妻）に悩みをいつも打ち明けることができる」、「13. 家族は私の悩みを聞いてくれる」

第2因子：健康：「15. 起きる時間、寝る時間が決まっている」、「13. 子どもは早寝早起きをさせている」

第3因子：健康：「1. 子どもの下着は毎日着替えさせる」、「2. 朝食を必ず食べさせる」

第1、2、3因子ともに単一である。

第1因子は、正職員は情緒、自営業は教育・健康、主婦は情緒、パートは情緒を示し、情緒が共通因子であった。

第2因子は、正職員は教育、自営業は・情緒、教育、パートは健康、主婦も健康を示し4者の共

通因子はなかった。正職員と自営業では教育、主婦、パートでは健康が共通因子であった。

第3因子は、正職員は情緒、自営業は健康・情緒、パートは健康、主婦も健康を示し、4者の共通因子はなかった。自営業、主婦、パートで健康が共通因子であった。

5. ソーシャルサポートにおける平均値、標準偏差の比較

(1) 一元配置分散分析

「9. 夫は家事に協力的である」、「8. 家庭内に夫以外で子育てのことで相談できる人がいる」、「10. 子育てのことで相談できる保健・医療の専門家がいる」において有意差を認めた ($p<0.05$ 、 $p<0.02$ 、 $p<0.05$)。

(2) 多重比較 (表11)

上位2位は、各就業状況全てにおいて「1. 家庭内の重要な決定をするのに夫がいてくれてよかったと思う」、「2. 子育てのことで相談できる友人・知人・隣人がいる」である。下位2項目は、自営業を除き「11. 子育てのことで相談できる子育てサークルがある」、「10. 子育てのことで相談できる保健・医療の専門家がいる」である。自営業は質問項目11と「9. 夫は家事に協力的である」である。

「7. 夫と色々なことを話す時間がある」については、主婦はパートより、無職はパートより高かった ($p<0.02$ 、 $p<0.05$)。

「8. 家庭内に夫以外で子育てのことで相談できる人がいる」は、正職員は主婦より、自営業はパートより高かった ($p<0.05$)。「9. 夫は家事に協力的である」は、正職員は自営業、パートより高かった ($p<0.01$ 、 $p<0.05$)。

単純順位により順位相関を求めると、表12のような結果を示す。この表からは全体・自営、

表11 ソーシャルサポートの比較

質問項目	全体			正職員			自営業			パート			主婦			無職			t 検 定
	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	順位	M	SD	
1. 家庭内の重要な決定をするのに夫がいてくれてよかったと思う	1	3.43	0.72	1	3.38	0.88	1	3.48	0.64	2	3.36	0.73	1	3.45	0.71	1	3.51	0.11	
2. 子育てのことで相談できる友人・知人・隣人がいる	1	3.43	0.74	2	3.30	0.85	2	3.36	0.78	1	3.45	0.64	1	3.45	0.77	2	3.34	0.12	
3. 夫は子供とよく遊んでくれる	3	2.97	0.83	3	3.02	0.95	6	2.74	0.81	3	2.91	0.85	3	3.02	0.79	4	2.94	0.15	
4. 夫は育児に協力的である	4	2.89	0.45	3	3.02	0.92	6	2.74	0.98	5	2.78	0.78	5	2.91	0.85	3	3.00	0.14	
5. 夫は自分のことを理解してくれていると思う	5	2.86	0.78	8	2.74	1.01	8	2.67	0.48	4	2.79	0.68	4	2.93	0.77	7	2.74	0.14	
6. 子育てのことで相談できる幼稚園・保育園の先生がいる	6	2.84	0.98	5	2.86	0.95	3	3.04	0.92	6	2.77	1.03	6	2.84	0.98	6	2.80	0.16	
7. 夫と色々なことを話す時間がある	7	2.75	0.84	9	2.55	0.99	5	2.78	0.85	7	2.57	0.77	7	2.81	0.83	5	2.89	0.15	主婦>パート**, 無職>パート*
8. 家庭内に夫以外で子育てのことで相談できる人がいる	8	2.48	1.24	6	2.84	1.20	4	2.86	1.15	9	2.34	1.20	9	2.40	1.26	8	2.54	0.22	正職員>主婦*, 自営業>パート*
9. 夫は家事に協力的である	9	2.45	0.98	7	2.76	0.98	10	2.07	1.00	8	2.43	0.92	8	2.45	0.99	9	2.51	0.17	正職員>自営業***, 正職員>パート*
10. 子育てのことで相談できる保健・医療の専門家がいる	10	2.15	1.08	10	2.45	1.13	9	2.46	1.04	10	2.14	1.10	10	2.09	1.07	10	2.09	0.18	
11. 子育てのことで相談できる子育てサークルがある	11	1.56	0.87	11	1.50	0.79	11	1.82	1.06	11	1.51	0.84	11	1.54	0.86	11	1.66	0.16	

*p<0.05, **p<0.02, ***p<0.01

表12 ソーシャルサポートにおける就業状況別順位相関

	全体	正職員	自営	パート	主婦	無職
全 体		0.90	0.79	0.98	0.98	0.95
正職員			0.80	0.84	0.85	0.88
自 営				0.68	0.69	0.81
パート					1.00	0.90
主 婦						0.91

■は平均以上を示す

正職員・自営、正職員・パート、正職員・主婦、自営・パート、自営・主婦、自営・無職の組み合わせが平均以下を示す。最低値は、自営・パートの組み合わせである。

IV. 考察

各就業状況別の家族機能、ソーシャルサポートの特徴を平均値（有意差がみられる項目）、平均値の順位、因子分析を基に総括し、育児支援のあり方について考察する。

家族機能においては、どの就業状況の母親も、教育、健康、情緒での順に得点が高かった。因子分析では情緒が全就業状況において第1

因子に抽出され重視していた。どの就業状況の母親も、家庭は、楽しいことを家族に話し、夫や子供は心のよりどころになり、落ち着く場となっていた。教育は第3因子に抽出され、善悪を教える場であり、清潔、食事、睡眠、疾病予防等、第2因子に抽出された健康に気を配る場となっていた。しかし、それぞれの内容については、就業状況により特徴が見られた。

1. 正職員

情緒：パートより物事を決めるときは家族に相談しており、夫（または家族）は困った時にはアドバイスしてくれ、大事にされている等、恵まれていた。一方、とくに自営業よりは家族との楽しい団欒の機会が持ちにくい状況にあった。自営業の拡大家族の割合が7割弱であるのに対し、正職員は4割強に過ぎないことや、時間的制約があるためと考えられた。

教育：悪いことをしたときに叱るよりも、よいことをしたときに誉め、弱い人や動物を大事にするように話し、家族が協力してしつけをし

ており、パートや自営業よりも恵まれていることが伺われた。一方主婦よりも、自分でやることが一人で作らせており、自主独立の精神を養うようにしている。教育の質問項目の中でも、善悪を教えることよりも人間関係を重視する項目と思われる、子どもの話を聞く、遊ぶ時間をとる、抱いたりスキンシップをとるなどを重視していた。一方、近所の人への挨拶を教えていることは、特に自営業より低く、近隣との関係を深めるような教育にも配慮することが必要ではないかと思われた。

健康：道路では必ず子どもと手をつなぐ、いざという時のために相談できる主治医がいる、食事内容や、栄養のバランスに注意している等は配慮していたが、朝食を必ず食べさせる、十分な睡眠をとらせるようにしている等は配慮が必要である。健康保持に気を配ってはいるが、時間の制約があることが推測できる。しかしいざという時のために相談できる主治医を選定していることは賢明であると考えられる。

サポート：主婦より家庭内に夫以外で子育てのことで相談できる人がおり、自営業、パートより夫は家事に協力的である。夫、家族のサポートは、恵まれている。

夫と色々なことを話す時間は、時間の制約があるためか自営業、無職より少なく正職員の課題と考える。

上述のように病気の時休めない状況が、主治医を選定していることにつながっているようである。山崎ら⁹⁾は、勤労者女性の子育ての現状と医療機関への要望についてアンケート調査をしている。今後取り組むべき問題として子どもが病気の時に父親も含め十分な休暇期間をとれる職場作り、病院内保育所の設置を提案しているが今後の課題と考える。

2. 自営業

情緒：得点値、順位相関、因子分析等全てにおいて、他の就業状況の母親とは様相が異なっていた。たとえば、友人との約束より家族との約束を尊重するは他の全ての就業状況の母親より低い、夫の悩みをいつも聞くことができる、1日1回は家族と楽しい団欒の機会がある、家族は私の悩みを聞いてくれるは高い。

自営業は、家族の和を大切にしているがそれとは裏腹に商売の関係からか、家族との約束より友人との約束を尊重していることが伺えた。

教育：得点値、順位相関、因子分析等全てにおいて情緒と同様に、他の就業状況の母親とは様相が異なっていた。たとえば、良いことをしたときは子供を誉めるは、得点値は正職員より低く、弱い人や動物を大事にするよう話しているは正職員、パートより低い。因子分析では、機会あるごとに交通ルールを教えている、良いことをしたときは誉める、悪いことをしたときは叱るが第1因子に抽出され重視していると考えられる。居住環境の関係で交通事故防止に注意し、近隣とのよい関係を大切にしていることが伺える。

健康：総得点値において、主婦より有意に低いことが特徴的である。因子分析では第3因子に抽出された。質問項目の得点値や順位では、下着は毎日着替えさせる、車に乗るときは、チャイルドシートを使用している、朝食を必ず食べさせる、外から帰ったら、手洗いやうがいをさせているは、主婦や無職より低く、おやつを与える時間と回数を決めているは、他の全ての就業状況の母親より低い。約7割が拡大家族であり、家族従事者の一員として忙しく働く母親としては、実行困難な状況にあるのではないかとと思われる。第3因子で抽出された健康の項目は、就寝・起床時間、食事時間、早寝・早起きであ

り、正職員が人間関係を築く内容であるのに対し、いわば生活リズムに関するしつけの内容であった。

サポート：パートより拡大家族の割合が3割多いためか、家庭内に夫以外で子育てのことで相談できる人がいる。しかし、正職員より、夫が子供とよく遊んでくれることや家事・育児に協力的ではない。拡大家族が多いことから夫がその必要性を認めていないことが考えられる。

3. パート

情緒：総得点値は主婦よりも有意に低いことが特徴的である。因子分析では、正職員、主婦と同様に第1因子に抽出され重視していることがわかる。主婦より家にいると落ち着く、物事を決めるときには家族で相談して決めることも主婦、正職員より少ない。友人との約束より家族との約束を尊重することも正職員より少ない。順位相関では自営業との相関が低いが、友人との約束より家族との約束を尊重する項目が低く、1日1回は家族との団欒の機会があるが高いことがその大きな要因となっていた。

教育：情緒、健康より関心が低く、他の就業状況の母親と比較して重要視されていない。弱い人や動物を大事にするように話しているが、家族が協力してしつけを行っている、良いことをしたときには子どもを誉めたり、自分なりの育児の方針に基づいた育児、子どもと遊ぶ時間を捻出するなど、配慮が必要であろう。

健康：教育に次ぎ関心が高く、子どもを友達と遊ばせている、外出後の手洗いやうがい、子どもの前での喫煙等に配慮している。一方、歯磨き終了後の再確認、間食の時間や回数や本の読み聞かせには、今後配慮が必要である。

サポート：夫は自分のことを理解してくれていると思っているが、夫と色々なことを話す時

間や家庭内に夫以外で子育てのことで相談できる人も少ない。また夫は家事に協力的でない等が課題と考えられた。

4. 主婦

情緒：教育、健康に比し得点は低いが、因子分析では第一因子で抽出され重視している。

家にいると落ち着く、物事を決めるときには家族に相談して決め、友人との約束より、家族との約束を守っている。また、夫の悩みをいつも聞くことができ、子どもが心配したり不安に思っていることが何かを理解できており、他の就業状況の母親と比較し特に配慮すべき項目はない。

教育：良いことをしたときには子どもを誉める、自分なりの育児の方針に基づいて、育児をし、1日1回は子どもと遊ぶ時間を持っている。一方、機会あるごとに交通ルールを教えている、食事は家族そろってするようにしているについては、配慮が必要である。

健康：自営業より有意に得点値が高く配慮していることが伺われる。朝食を必ず食べさせており、自分なりの育児の方針に基づいて、育児をしている。1日1回は子どもと遊ぶ時間を持っている。道路では必ず子どもと手をつなぐ、早寝早起きについては留意を要する。

サポート：夫と色々なことを話す時間があるが、家庭内に夫以外で子育てのことで相談できる人については配慮を要する。

5. 無職

情緒：子どもが心配したり、不安に思っていることが何かを理解できている。配慮したい項目は、特にない。

教育：家族や家庭で行う催し物・行事を大切にしている。配慮したいことは、機会あるごとに交通ルールを教えることである。

健康：子どもの下着は毎日着替えさせる、朝食を必ず食べさせる、子どもは毎日入浴させる、車に乗るときは、チャイルドシートを使用している、おやつを与える時間と回数を決めている、子どもの歯磨き終了後、大人が再度確認している、子どもの前ではタバコを吸わないようにしている、外から帰ったら、手洗いやうがいさせている等々がよくなされていた。

サポート：夫と色々なことを話す時間があることが特徴的であった。

V. 結論

幼児を持つ母親の就業状況による家族機能とソーシャルサポートの特徴を明らかにし、育児支援のありかたについて示唆を得ることを目的に、495名の母親を対象に質問紙による留め置き調査を実施した。その結果は以下のとおりである。

1. 正職員は、情緒機能は夫、家族の協力があり恵まれていた。教育機能は、善悪を教えることよりも人間関係を築くことに関心が見られた。健康機能は、いざという時のために相談できる主治医を選定していることが特徴的であった。主婦より家庭内に夫以外で子育てのことで相談できる人がおり、自営業、パートより夫は家事に協力的である。夫、家族のサポートは、恵まれていた。

夫と色々なことを話す時間は、時間の制約があるためか自営業、無職より少なく正職員の課題と考えられた。

2. 自営業は、情緒機能は、一家団欒を大切に、それとは裏腹に家族より友人との約束を大事にしていた。教育機能は、交通ルール、善悪のしつけを重視していた。健康機能は、生活リズムに関するしつけはしっかりなされている

が、間食の時間、回数が不規則であった。サポートについては、パートより拡大家族の割合が3割多いためか、家庭内に夫以外で子育てのことで相談できる人がいる。しかし、正職員より、夫が子供とよく遊んでくれることや家事・育児に協力的ではない。拡大家族が多いことから夫がその必要性を認めていないことが考えられた。

3. パートは、家族の団欒を大切にしていた。弱い人や動物を大事にしているが、他の就業状況の母親よりも関心が低い。健康は、歯磨き後の確認、間食の規則性などに留意が必要である。サポートは、夫は自分のことを理解してくれていると思っているが、夫と色々なことを話す時間や家庭内に夫以外で子育てのことで相談できる人も少ない。また夫は家事に協力的でない等が課題と考えられた。

4. 主婦は、情緒、教育、健康等に配慮していた。サポートは、夫と色々なことを話す時間があるが、家庭内に夫以外で子育てのことで相談できる人については配慮を要する。

5. 無職は、夫と色々なことを話す時間があることが特徴的であった。

幼児を持つ母親の家族機能やソーシャルサポートの状況を就業状況別に検討した結果、それぞれ特徴があることから、母親の就業状況は保健指導に当たって考慮すべき要因であることが明らかになった。

なお、本研究は第60回日本公衆衛生学会(2001年10月、香川県)にて発表した。

引用文献

- 1) 和田紀子(2000)：三歳児健診を受診した児にみられる問題と家族機能の評価、小児保

- 健研究、59(1)、pp25-34.
- 2) 和田紀子(1999)：家族機能と幼児の行動および父母の育児問題、58(1)、pp49-57.
 - 3) 法橋尚宏、前田美穂、杉下和子(2000)：FFFS(Feetham家族機能調査)日本語版 I の開発とその有効性の検討、家族看護学研究、6(1)、pp2-10.
 - 4) 中塚綾子、大滝ミドリ(1993)：働く母親の子育ての実態と問題点、小児保健研究、52(6)、pp573-578.
 - 5) 堀妙子、奈良間美保(2002)：職業をもつ母親の養育行動と幼児の生活習慣に関する実態調査—規則的な生活習慣に焦点を当てて—、小児保健研究、61(2)、pp334-340.
 - 6) 中野照代、荒木田美香子、藤生君江、片桐雅子、佐藤友子、飯田澄美子(2001)：1歳6ヶ月児、3歳児健康診査問診表の検討—育児に関する心理・社会面のアセスメントに着目して—、日本地域看護学会第4回学術集会講演集、p109.
 - 7) 荒木田美香子、佐藤友子、中野照代、藤生君江、飯田澄美子、片桐雅子、山名れい子(2001)：幼稚園・保育園児をもつ母親の家族機能及び育児満足感に影響する要因、7(1)、家族看護学研究、p98.
 - 8) 鈴木和子、渡辺裕子(2000)：『家族看護学』、p29、日本看護協会出版会、東京.
 - 9) 山崎剛、武田範子、成山範子、茂地秀紀、川村尚久、竹中義人、小国龍哉、玉井浩、高柳玲子、遠藤広子(2002)：勤労者女性の子育ての現状と医療機関への要望についての検討—アンケート調査より—、小児保健研究、61(4)、pp561-567.